

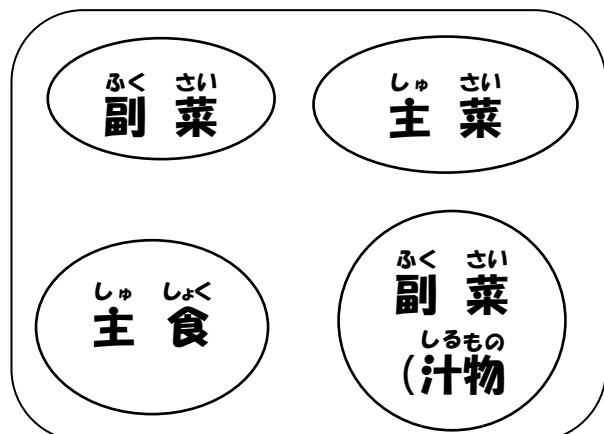
7月 給食だより



令和6年度7月
里学校給食センター

暑い夏はつついさっぱりとした「そうめん」「お茶漬け」など、炭水化物に偏った食事になりがちです。意識して肉・魚・卵・大豆製品などのたんぱく質源となるおかず（主菜）や、野菜料理（副菜）も毎食欠かさず食べるように心がけましょう。

夏バテを防ぐ4つのお皿



- ・主食…ごはん・パン・めん類など
- ・主食…肉・魚・卵・豆・豆製品などのおかず中心となる料理
- ・副菜…野菜・きのこ・海そう類などを中心とするおかずと汁物（野菜たっぷりのみそ汁・スープなどがよいですね）
- ☆その他…1日に1回は牛乳・ヨーグルトなどの乳製品や果物をとるようにすると完璧です!!

◎ 夏バテを防ぐために…

- ・しっかりと食べよう！→ごはんとうりかけ、パンとのみものだけではきちんと食べたとは言えません。
- ・のどがかわいたら麦茶か牛乳を飲もう！→清涼飲料水は砂糖がたくさん入っているので、よけいのどがかわいたり、食欲がなくなります。
- ・色の濃い野菜を食べよう！→不足しがちな野菜をしっかりととりましょう。旬の夏野菜には栄養たっぷりです。
- ・卵、肉、魚などのたんぱく質をしっかりとろう！

※ 育ちざかりの子どもたちは、1回1回の食事が「からだづくり」につながっています。

ご家庭でつくってみませんか？

給食レシピ紹介



鶏肉とゴーヤの梅風味揚げ

【材料（小学生4人分）】

鶏もも肉(むね肉でもよい)	140g	A
濃口醤油	4g	
料理酒	4g	
おろししょうが	2g	
ゴーヤ	100g	
片栗粉	適量	B
揚げ油	適量	
梅干し	4g	
いりごま	2g	
砂糖	2g	
はちみつ	9.6g	
みりん	6g	
酢	2g	
濃口醤油	12g	

【作り方】

- ① ゴーヤは適当な厚さにスライスしておく。
- ② 鶏肉は一口大に切って A の調味料で下味をつけておく。
- ③ 梅干しは種をとって刻んでおく。B のたれを火にかける。砂糖が溶ける程度でよい。
- ④ ゴーヤと鶏肉に片栗粉をまぶし、揚げ油で揚げていく。
- ⑤ B のたれに梅干し、ごまをいれて混ぜる。
- ⑥ ⑤のたれに④で揚げたゴーヤと鶏肉を入れ混ぜて出来上がり。

本格的な暑さの前に 暑さに慣れよう

同じ気温でも暑さに慣れている時とそうでない時の感じ方は違います。暑さが本格化する前に、少しずつ暑さに慣れましょう。体が慣れるまでは軽めの運動から始め、こまめに水分をとって少しずつ運動量を増やします。無理はせずにだんだん体を慣らしていきましょう。

